

## 第22回（2019年度）「俳句甲子園」審査委員長プロフィール



たかの むつお

高野 ムツオ 先生(小熊座主宰)

昭和22年宮城県生まれ。阿部みどり女、金子兜太、佐藤鬼房の指導を受ける。平成14年「小熊座」を継承主宰。句集に『陽炎の家』『鳥柱』『雲雀の血』『蟲の王』『萬の翅』（読売文学賞、蛇笏賞）『片翅』、セレクション『高野ムツオ集』。文集『時代を生きた名句』、『語り継ぐいのちの俳句』。



にしむら かずこ

西村 和子 先生(知音代表)

昭和23年神奈川県生まれ。高校生で作句を始める。昭和41年慶大俳句入会、清崎敏郎に師事。句集『夏帽子』（俳人協会新人賞）『心音』（俳人協会賞）『椅子ひとつ』（小野市詩歌文学賞）など。著書『虚子の京都』（俳人協会評論賞）



なかはら みちお

中原 道夫 先生(銀化主宰)

昭和26年新潟県生まれ。多摩美術大学卒。広告代理店勤務中に社内の句会に参加。能村登四郎門。句集『蕩児』で俳人協会新人賞、『顛頂』にて俳人協会賞。平成10年より「銀化」創刊、主宰。句集に『アルデンテ』『巴芹』『一夜劇』など。日本文藝家協会々員、俳人協会名誉会員。



まさき ゆうこ

正木 ゆう子 先生(紫薇同人)

昭和27年熊本県生まれ。昭和48年、「沖」入会。能村登四郎に師事。平成8年、「紫薇」参加。句集に『水晶体』『悠』『静かな水』（芸術選奨文部科学大臣賞）『夏至』『羽羽』（蛇笏賞）。著書に『起きて、立って、服を着ること』（俳人協会評論賞）『現代秀句』など。読売新聞俳壇選者。角川俳句賞選考委員。



ほしの たかし

星野 高士 先生(玉藻主宰)

昭和27年神奈川県生まれ。祖母、星野立子に師事し十代より作句。「ホトトギス」同人。鎌倉虚子立子記念館館長。日本伝統俳句協会会員。日本文芸家協会会員。国際俳句交流協会理事。句集『破魔矢』『谷戸』『無尽蔵』『顔』『残響』。著書『星野立子』『俳句真髓』他。編著『東京ぶらり吟行日和』。詩歌文学館賞、星野立子賞新人賞、各選考委員。



おざわ みのる

小澤 實 先生(澤主宰)

昭和31年長野県生まれ。平成12年「澤」創刊・主宰。句集に『砧』『立像』（俳人協会新人賞）『瞬間』（読売文学賞詩歌俳句賞）。著書に『万太郎の一句』『俳句のはじまる場所』（俳人協会評論賞）『日本文学全集 近現代詩歌』『名句の所以』など。他に人類学者中沢新一との対談集『俳句の海に潜る』がある。俳人協会常務理事。読売新聞・東京新聞俳壇選者。角川俳句賞・星野立子賞選考委員。



なつい

夏井 いつき 先生(いつき組組長)

昭和32年愛媛県生まれ。黒田杏子に師事。第8回俳壇賞受賞。第44回放送文化基金賞受賞。句集に『伊月集 龍』『伊月集 鳥』。著書に『おうちde俳句』『世界一わかりやすい俳句の授業』『俳句ことはじめ』『雪の歳時記』シリーズほか3冊。『寝る前に読む、一句、二句』『絶滅寸前季語辞典』『絶滅危急季語辞典』『俳句の授業ができる本』など。



きしもと なおき

岸本 尚毅 先生(天為、秀)

昭和36年岡山県生まれ。東大学生俳句会を経て俳誌「天為」「秀」同人。

著書に句集『舜』(俳人協会新人賞)、『高浜虚子俳句の力』(俳人協会評論賞)、『「型」で学ぶはじめての俳句ドリル』(夏井いつき氏と共著)など。岩手日報・山陰新聞俳壇選者。



せき えつし まんぼう

関 悦史 先生(翻車魚同人)

昭和44年茨城県生まれ。「豈」「クプラス」を経て佐藤文香と「翻車魚」創刊。

句集『六十億本の回転する曲がった棒』『花咲く機械状独身者たちの活作り』。

評論集『俳句という世界』。芝不器男俳句新人賞城戸朱理奨励賞、俳句界評論賞、田中裕明賞。



ときた ともや

鍋田 智哉 先生(オルガン)

昭和44年 千葉県の木更津生まれ。平成8年 結社「魚座」(今井杏太郎主宰)にて俳句を始める。平成13年「俳句研究賞」受賞。平成17年 第一句集『こゑふたつ』にて「俳人協会新人賞」受賞。平成18年 「魚座」終刊。平成19年 結社「雲」(鳥居三朗主宰)に入会、編集長。平成25年 「雲」退会。平成27年 第二句集 『凧と円柱』にて「田中裕明賞」受賞。同人誌『オルガン』創刊参加。

現在は自宅にて仕事をしながら、近くの玉川上水や奥多摩などを歩く。



さかにし あつこ

阪西 敦子 先生(ホトトギス、円虹)

昭和52年神奈川県生まれ。その後、茨城、東京などを転々。祖母の勧めで7歳より作句、『ホトトギス』『円虹』へ投句。現在、『ホトトギス』同人。平成22年、日本伝統俳句協会新人賞受賞。『ホトトギスの俳人101』『俳コレ』『天の川銀河発電所』入集。



たかやなぎ かつひろ

高柳 克弘 先生(鷹編集長)

昭和55年静岡県生まれ。平成14年「鷹」入会、藤田湘子に師事。

平成16年俳句研究賞。平成20年「凜然たる青春」で俳句協会評論新人賞。

平成21年第1句集『未踏』で田中裕明賞。平成28年第二句集「寒林」刊行。

平成29年度「NHK俳句」選者。「鷹」編集長。読売新聞『KODOMO俳句』選者。新著に評論集『どれがほんと？万太郎俳句の虚と実』。



こうの さき

神野 紗希 先生(現代俳句協会青年部長)

昭和58年愛媛県松山市生まれ。高校時代、俳句甲子園をきっかけに俳句を始める。第1回芝不器男俳句新人賞坪内稔典奨励賞受賞。句集に『星の地図』『光まみれの蜂』、著書に『日めくり子規・漱石 俳句でめぐる365日』『30日のドリル式 初心者にやさしい俳句の練習帳』など。